



林座



長谷座

相模人形芝居

伝統を未来に

およそ300年前、淡路（兵庫県）から伝わったとされる人形芝居。市内では、長谷と林の2座が伝統をつないでいます。

あてやかな衣装をまとい静かなまなざしで向き合うのは、2座に伝わる三番叟（さんぼそう）人形です。三番叟は古来、縁起の良いものとして、五穀豊穡（ごうくほうじやく）や天下太平、子孫繁栄などを祈り、演じられてきました。

あつぎ郷土博物館では、三番叟人形をはじめ、県内5座に伝わる史料を集めた企画展を開催しています。郷土の芸能から、先人の思いや願いを感じてみてはいかがでしょうか。

☎あつぎ郷土博物館 ☎225-2515



相模人形芝居 1体を3人で操る「三人遣い」と「鉄砲ざし」と呼ばれる操法が特徴。長谷・林座が継承し1980年に国の重要無形民俗文化財に指定

無料 相模人形芝居大会第50回記念展
人形とともに・相模人形芝居の50年

日時 3月5日まで 9～17時
場所 あつぎ郷土博物館

内容 人形や史料などの展示 あつぎ 元気Wave 2/1～CATVで放送

◆講演会
日時 2月18日 14～16時
内容 人形芝居の今後について専門家が講演

◆相模人形芝居・長谷座公演
日時 2月25日 14～16時
※◆は定員各回50人。各5日前までにあつぎ郷土博物館へ。抽選。

☎あつぎ郷土博物館 ☎225-2515

詳細はこちら